

Sustainability Design Company

地域社会の未来を描く

SDGsへの挑戦

2019年3月6日
株式会社 滋賀銀行
広報室長兼CSR室長
嶋崎 良伸

滋賀銀行の経営理念

行 是 1966年制定

自分にきびしく 人には親切 社会につくす

CSR憲章(経営理念) 2007年制定

地 域 社 会
役 職 員
地 球 環 境

共存共栄

滋賀銀行のCSRの歴史



- ‘84年 「社会福祉法人しがぎん福祉基金」設立
- ‘99年 「環境方針」制定
- ‘00年 「ふれあい環境室」設置
「ISO14001」認証取得
- ‘04年 「CSR室」、「CSR委員会」設置
- ‘05年 「しがぎん琵琶湖原則(PLB)」策定
※「環境金融」の推進
- ‘07年 基礎的内部格付手法(FIRB)を金融庁承認
「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
- ‘08年 「エコ・ファースト企業」として環境省より認定
- ‘10年 「生物多様性保全方針」制定
- ‘13年 創立80周年
「地域振興室」設置(「地方創生」の支援)
- ‘16年 ポジティブアクション
「プラチナくるみん認定」、「イクボス宣言」
- ’17年 しがぎんSDGs宣言

「環境経営」

滋賀銀行は経営に環境を取り込んだ「環境経営」を銀行経営の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「エコオフィスづくり」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「環境金融」ならびに「環境ボランティア」活動を展開



これまでの活動とSDGs

戦略	分類	商品・サービス	CSRレポート掲載ページ	SDGsへの貢献
本業を通じた社会的課題の解決	地域産業振興	エコビジネスマッチングフェア	8	1 貧困をなくそう, 2 気候をゼロに, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも経済成長も, 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
		サタデー起業塾	5	
		クラウドファンディング	5	12 つくもの責任, つかう責任, 13 気候変動に具体的な対策を
		GAP認証取得サポート	2	
	次世代育成	CSR私募債	2	3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに
		未来リーと定期預金	6	
	金融サービス	エコプラス定期預金	8	6 安全な水とトイレを世界中に, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 15 陸の豊かさも守ろう
		しがぎん琵琶湖原則	8	
業務における環境課題の解決	エコオフィスづくり	ISO14001、温室効果ガス排出量削減、紙使用量削減、グリーン購入etc.	9	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 12 つくもの責任, つかう責任, 13 気候変動に具体的な対策を, 15 陸の豊かさも守ろう
本業を支えるCSR基盤の強化	人材活用・労働環境改善	人権研修、女性活躍推進、プラチナくるみん、BCP策定etc.	12	3 すべての人に健康と福祉を, 5 ジェンダー平等を実現しよう, 8 働きがいも経済成長も, 10 人や国の不平等をなくそう
	環境保全・生物多様性保全	いきものがたり活動 地域ボランティア	10	6 安全な水とトイレを世界中に, 11 住み続けられるまちづくりを, 13 気候変動に具体的な対策を, 15 陸の豊かさも守ろう
	福祉・文化・その他	しがぎん福祉基金、KEIBUN文化講座、ユニセフ外国募金、オレンジリボン、しがぎんカップetc.	6・8	2 気候をゼロに, 3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 8 働きがいも経済成長も, 16 平和と公正をすべての人に

しがぎんSDGs宣言

地銀初

持続可能な社会の実現に向けて「しがぎんSDGs宣言」を表明

「しがぎんSDGs宣言」

「しがぎん」は、CSR憲章（経営理念）に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

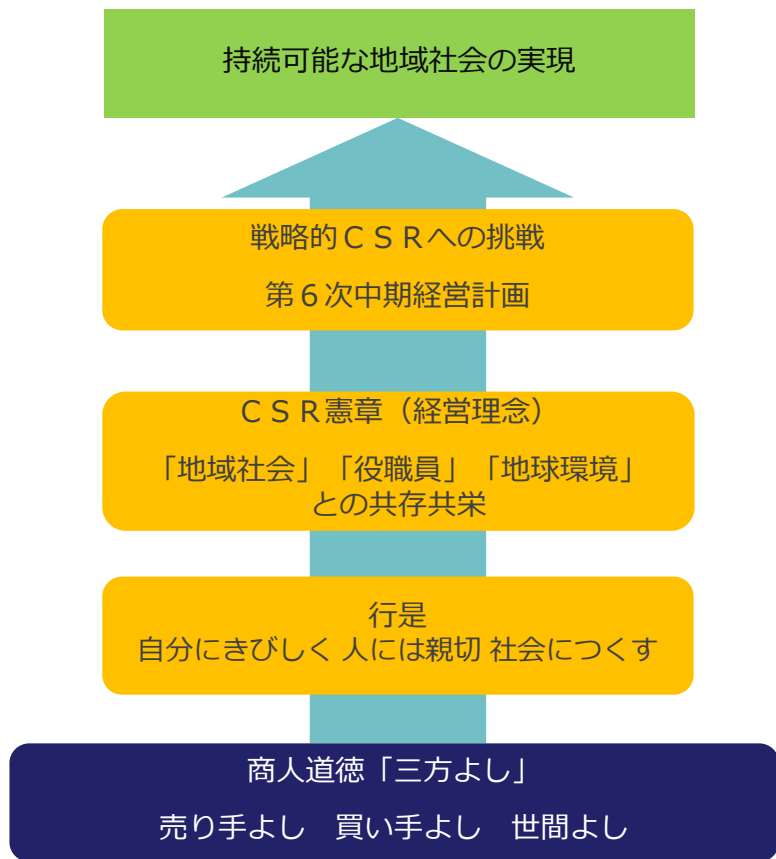
2017.11.22
本行副頭取 高橋 祥二郎

重点項目（ターゲット2030）

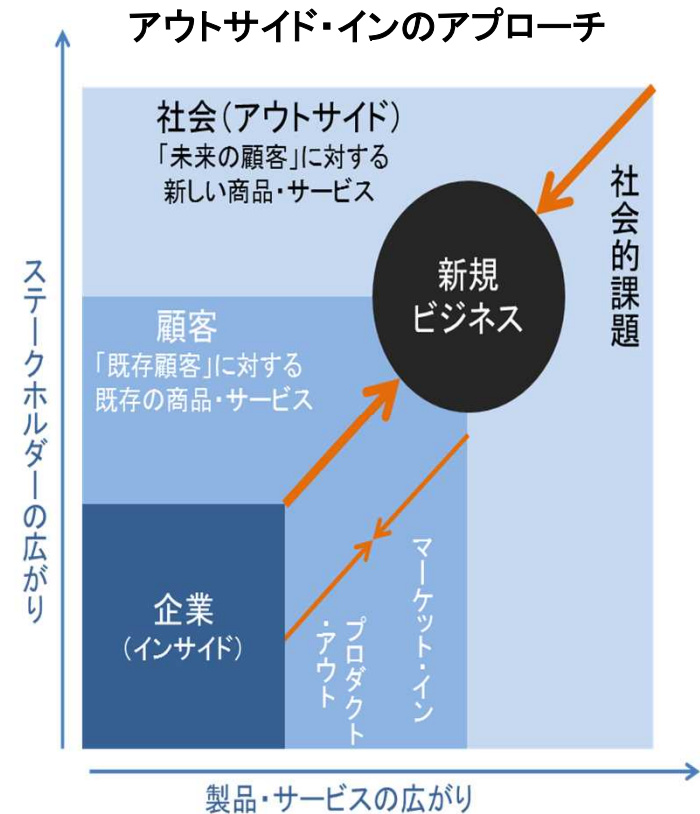
- 地域経済の創進**
金融の力を発して、社会的課題の解決とイノベーションの促進による新たなビジネスモデルを創出するとともに、地域の魅力を高め、人々の成長を支える豊かな地域経済を創進します。
- 地球環境の持続性**
「環境共生」を主軸としたSDGs宣言を基とし、循環型経済の実現や生物多様性保全など、持続可能な社会の実現に努めます。
- 多様な人材の育成**
働きがいを高め、SDGsの推進により、すべての人々にとって生きがい・働きがいのある社会環境をつくり、もって個性と能力が存分に発揮できる持続可能な人材育成に努めます。




SDGsを
活用して
CSR経営
をさらに深化



SDGs を新商品・サービスへ展開



社会的課題解決を起点としたビジネスの創出に向けた取り組みをサポート

エコビジネスマッチングフェア



- 環境に特化した当行主催の展示商談会。
- 2008年から開催し、今年で11回目。
- 92社団体が出展。1,309名が来場。
734件の商談が行われた。
- 出展企業のブースに、それぞれ該当する「SDGs」マークを表示。
- 「SDGs」の普及拡大を目指す。



ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



- ニュービジネス（野の花）の育成が地域金融機関の使命として、「サタデー起業塾」を2000年より毎年開催し、未来を担う次世代ビジネスの創造をテーマに新たなビジネスヒントを提供
- エントリー企業に対して、株式会社リバネスや産官学による野の花応援団と連携して、ビジネスプラン策定やブラッシュアップを個別にサポート
- 社会的課題解決型ビジネスに対して「しがぎんSDGs賞」を新設



協賛企業一覧

atect

OPTEX

株式会社 三東工業社

貴 Takara

GLASS FOR FUTURE
日本電気硝子

FUJITEC

平和堂

株式会社 X3ルフト

水質浄化の取組事例



金融機関初のSDGs融資商品



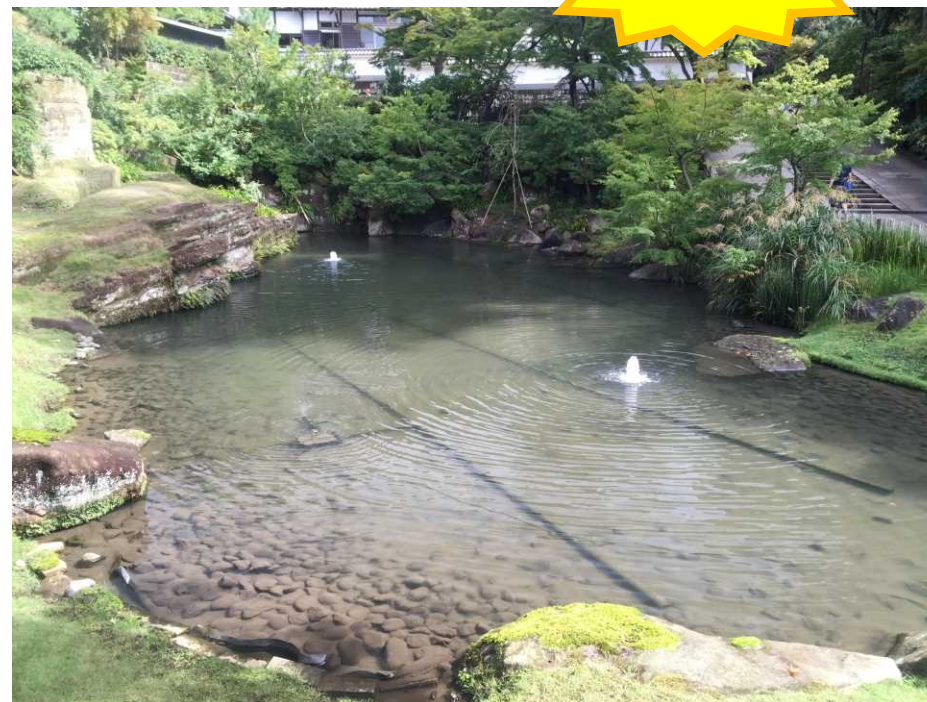
- 株式会社ウイルステージ（本社：滋賀県草津市、代表取締役：大谷洋士）は、**鎌倉市にある円覚寺の妙香池の水質を浄化**させた実績を持つ。
- 当行は「**ニュービジネスサポート資金（SDGsプラン）**」第1号を実行し、持続可能な社会づくりに貢献する事業をサポート。

Before



汚れがたまり
底が見えない

After



水質が改善

写真) ウイルステージ提供

民間企業提案型事業制度を活用した海外展開支援

株式会社日吉（本社：滋賀県近江八幡市、代表取締役社長：村田弘司）の「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」の採択及びビジネス環境の調査をサポート。

当社は長年の経験によって培った排水処理施設の管理技術をもつ。適切に排水処理がなされていないインドで、生活排水処理施設の総合維持管理事業の展開を検討。本制度を活用してビジネス環境の調査を行い、事業化を目指しています。事業化できればインドの水環境の改善に大きく貢献することになります。



SDGs 私募債「つながり」



	CSR私募債	SDGs私募債
発行企業	PLB格付 取得企業	SDGs賛同書 提出企業
寄贈内容	物品の寄贈	物品の寄贈 金銭の寄付
寄贈先	学校・特定公益増進法人（変更なし）	

《ポイント①》お客さまにSDGsを普及拡大!

発行企業にSDGsを知っていただき、賛同いただくことでSDGsを活用した取り組みを促進。新たなパートナーシップの構築を目指します。

《ポイント②》社会的課題解決を活動資金で応援!

社会的課題を解決するために熱心に取り組んでいる皆さんを資金面（金銭寄付）で応援することが可能になりました。幅広く柔軟に支援することで、より良い社会を創ります。

例えばこんな支援が可能に!



※「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」とは…

子どもを真ん中においた地域づくりを進めるための応援団をつくるプロジェクト。県内の子ども食堂（7月2日現在98カ所）の運営をサポートすることで、子どもたちを貧困や虐待から守るだけでなく、地域のさまざまな人々との交流を生み出し、心や体に傷を負った子どもたちの「社会への架け橋づくり」を目指しています。





住宅ローン配偶者に 同性パートナーを追加

「誰一人取り残さない」とのSDGsの理念にもつながる活動の一環として、スーパー住宅ローンのダブルプランおよび収入合算者ならびに担保提供者における「配偶者」に“同性パートナー”を含める取り組みを2018年10月より開始しました。



LGBTとは？

下記の頭文字をとったもので、性的マイノリティ者を総称する言葉として使われています。

L (Lesbian)：レズビアン 女性の同性愛者

G (Gay)：ゲイ 男性の同性愛者

B (Bisexual)：バイセクシュアル 両性愛者

T (Transgender)：トランスジェンダー ところの性とからだの性との不一致

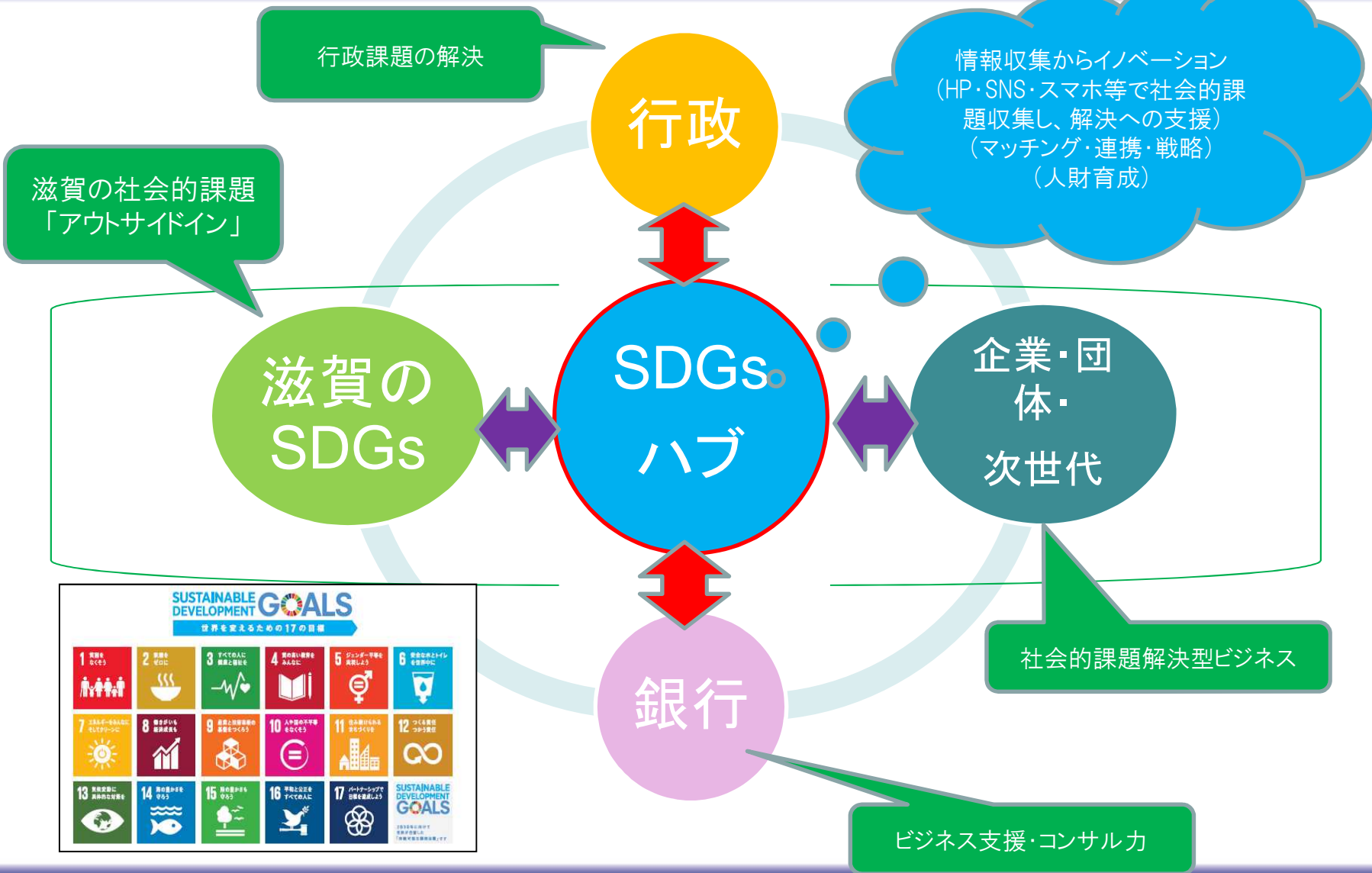
最近では、**Q (Questioning)**：クエスチョニング（性的思考が定まっていない）を加えて、LGBTQと表現されることもあります。

住宅ローン取り組み時必要書類

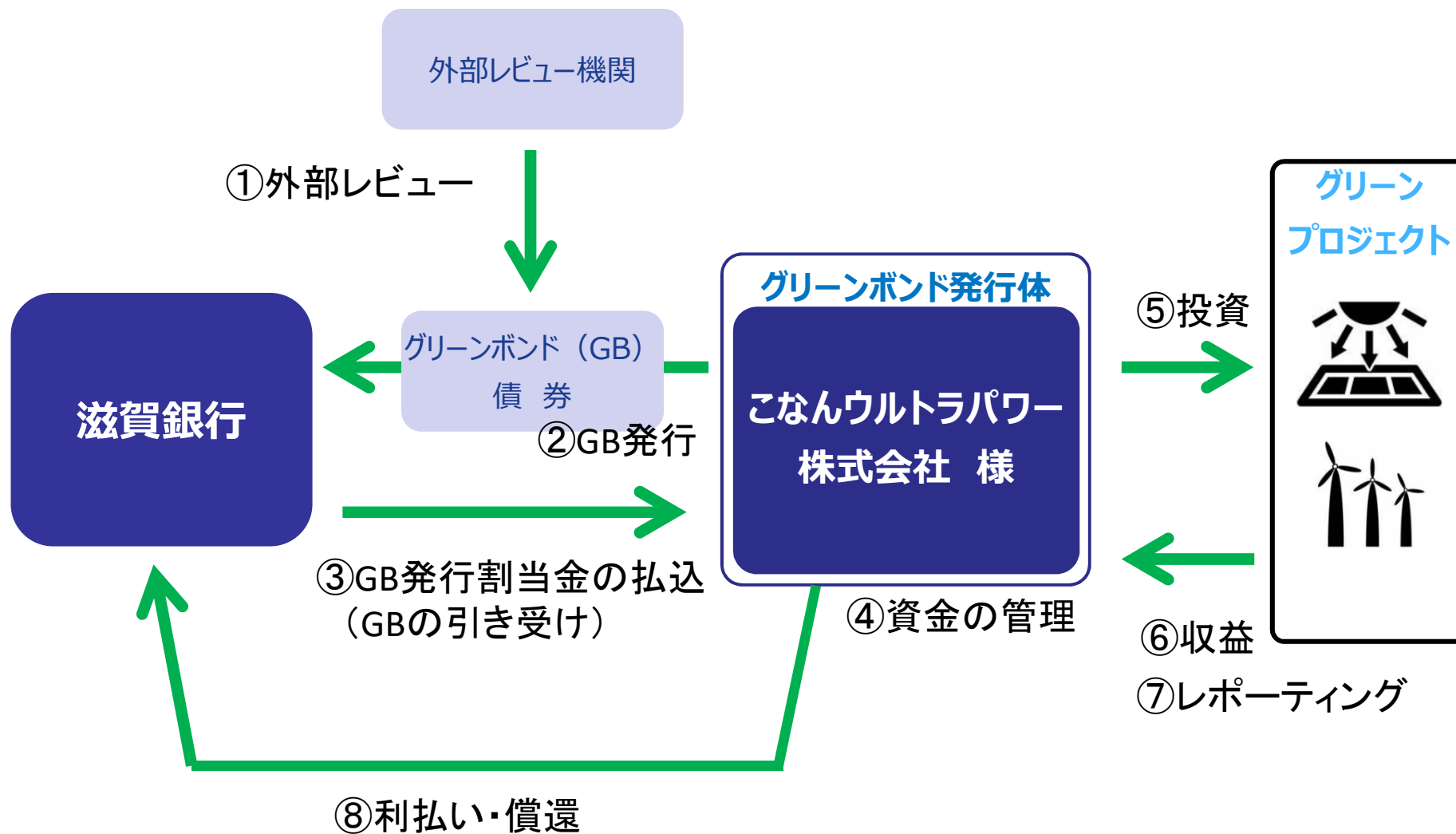
- ・同性婚契約にかかる公正証書の謄本
- ・任意後見契約公正証書の謄本
- ・任意後見契約にかかる登記事項証明書

詳細は、通牒取扱要領および住宅ローン知恵袋NO.〇〇を参照してください。

滋賀SDGs×イノベーションハブ



グリーンボンド(GB)引き受け



第7次中期経営計画の概要

目指す姿

「Sustainability Design Company」

～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる

～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

未来創造挑戦項目

SDGsをビジネスへ

地域社会の生産性向上

課題解決型金融情報サービス業への進化

持続可能な収益
構造への転換

考働改革
(考え方改革、働き方改革)

経営基盤の充実 (経営理念・人材・ガバナンス・自己資本・システム)

第7次中期経営計画

次期以降

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2032年度 2033年度

イベント

東京五輪

びわこ国体

大阪万博

SDGs目標

当行

オペ改完了

基幹系更改

90周年

95周年



100周年

サステナビリティビジョン（長期ビジョン）

＜不変の精神＞

行 是 : 「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」
 CSR憲章 : 「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄

＜目指すべき地域社会の姿＞

自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会
 ～地域との共創による持続可能な社会の実現～

経済・環境・人をつなぐ（統合的発展）

2030年のマイルストーン（ターゲット2030）

＜地域経済の創造＞
 Sustainable Development推進投融资
 新規投融资額 累計1兆円

＜地球環境の持続性＞
 温室効果ガス排出量
 30%以上削減
 （2013年度比較）

＜多様な人材の育成＞
 SDGs・金融リテラシー
 の普及・向上活動、
 次世代人材の育成活動
 実施人数延べ1万人

3つの挑戦指標を通じて経済的価値と社会的価値を創造し、両立することで
 地域社会の発展に取り組んでまいります。

地域との協創



循環型社会の実現



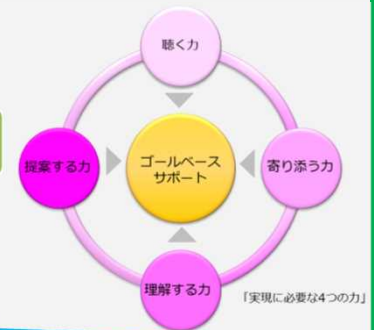
SDGsをビジネスに



経営体質の強化



ゴールベースサポート



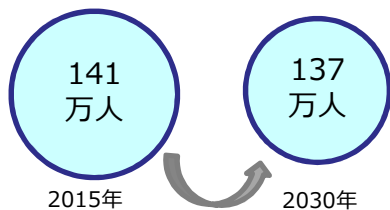
デジタルテクノロジー（AI、IoT、ビッグデータなど）の活用

※ 地域との共創…共感して創る 地域との協創…協力して創る

地域課題とマテリアリティ

地域の課題

滋賀県人口

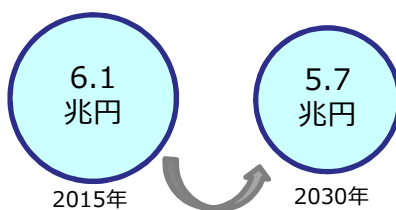


(※) 国立社会保障・人口問題研究所推計

少子高齢化

人口流出

滋賀県名目GDP



(※) 中小企業基盤整備機構試算の減少率を使用

廃業の増加

地域縮小

地域の悩みは、当行の課題
地域の課題に正面から向き合う。

当行の課題

低金利の継続

B/S拡大型ビジネス
の転換期

競争激化

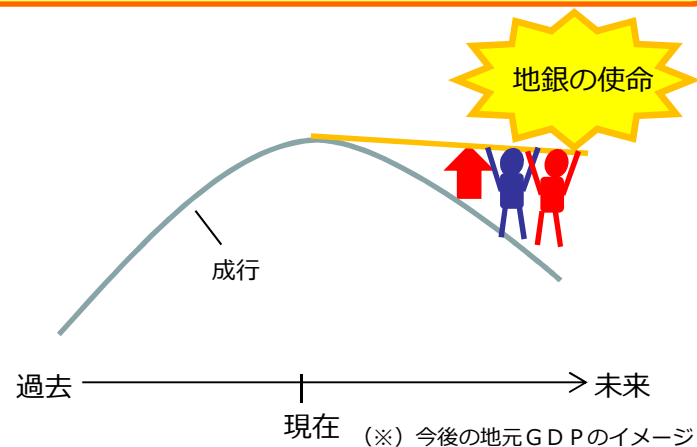
顧客ニーズの多様化

FinTechの進展

ライフサイクルの変化

地域の縮小角度を変える

社会的課題解決により地域に幸せをもたらす



地域

地域連携の強化

新事業を創出

法人

事業を承継する

売上を増やす

個人

資産をつなぐ

資産を増やす

重点項目 (ターゲット2030年)

地域経済の創造

地球環境の持続性

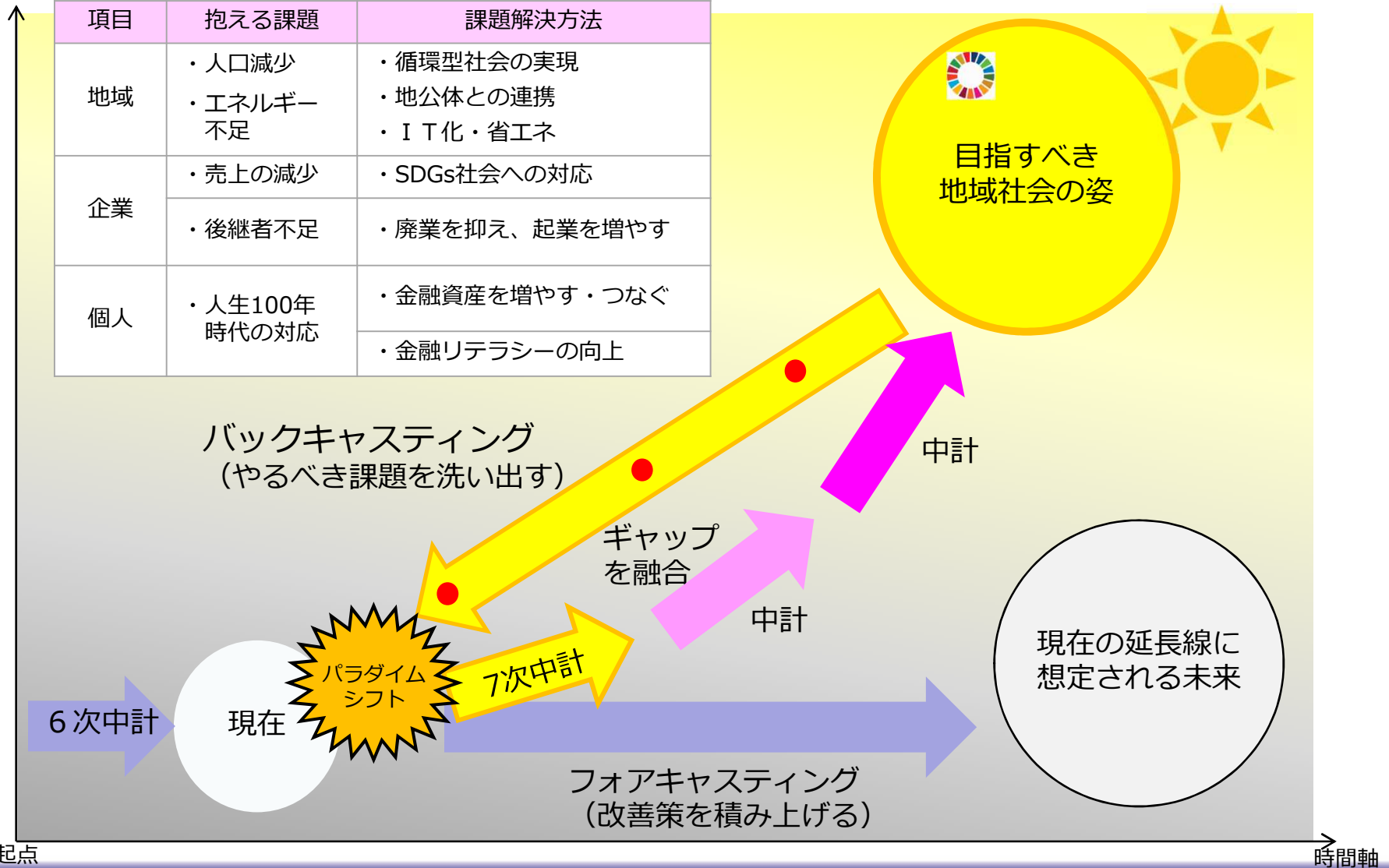
多様な人材の育成



目指すべき姿と中期経営計画の関係

社会起点

項目	抱える課題	課題解決方法
地域	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少 エネルギー不足 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会の実現 地公体との連携 IT化・省エネ
企業	<ul style="list-style-type: none"> 売上の減少 後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs社会への対応 廃業を抑え、起業を増やす
個人	<ul style="list-style-type: none"> 人生100年時代の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 金融資産を増やす・つなぐ 金融リテラシーの向上



自分起点

時間軸

第7次中期経営計画 挑戦指標

挑戦指標		2022.3 計画	2024.3 計画
SD 目標	Sustainable Development 推進投資	(新規投資額累計)5,000億円	
	地域顧客の価値向上サポート (コンサルティング相談件数)	850件	1,000件
	地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」)	2,200億円	3,000億円
	温室効果ガス排出量削減 (%) (2013年度比較の削減率)	25%削減	
	SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動	(研修等の実施人数) 5,000人	
収益 目標	親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	最終年度 100億円以上	
	顧客向けサービス業務利益	20億円	30億円

(※) SD (Sustainable Development) 目標…地域の持続的発展につなげる目標

長期的挑戦指標	長期的指標
ROE (連結)	5%以上
OHR	65%未満

今後の課題

1. 経営に統合できるか

- 1) 経営のリーダーシップ（トップダウン）
- 2) 営業推進、人事体系の一体化
- 3) 役職員の教育
- 4) お客さまへの理解、地域の理解

2. 新しいビジネスモデルが創造できるか

3. 中長期的な視点と短期視点とのバランス

- 1) バックキャストとフォアキャストの融合
長期目標はビジョン
- 2) PDCAサイクル

ご清聴ありがとうございました